

人事・採用責任者向け
脱炭素経営推進プログラム
—企業価値向上セミナー・ワークショップ—

長野地域脱炭素実現推進協議会

環境省 「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」によるプログラム

目次

- 1 環境省 「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」
- 2 長野地域脱炭素実現協議会がプロジェクトとして実現したいこと
- 3 「採用」に特化したプログラムを策定した理由
- 4 本プログラムにご参加頂くメリット
- 5 採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップの内容

- 1 環境省 「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」
- 2 長野地域脱炭素実現協議会がプロジェクトとして実現したいこと
- 3 「採用」に特化したプログラムを策定した理由
- 4 本プログラムにご参加頂くメリット
- 5 採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップの内容

環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に“採択”される

長野市では、脱炭素社会の構築を目指し、「長野地域脱炭素実現推進協議会」と連携しながら、市内の事業活動に伴う温室効果ガス排出量削減のための取組を進めています。

令和6年度は、長野市と長野地域脱炭素実現推進協議会で共同申請した

環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」が採択となりました

全国10都市・地域の中の一つとして「長野市」が選ばれたことは非常に画期的なことです。

具体的には現在、環境省およびポストンコンサルティンググループ（BCG）から「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制」を構築できるようサポートを受けております。

出典：長野市HP 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業の採択について
<https://www.city.nagano.nagano.jp/documents/16599/0708-2.pdf>

出典：環境省HP 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業参加団体決定について
https://www.env.go.jp/press/press_03174.html

長野市 PRESS RELEASE

令和6年7月8日

地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業の採択について

長野市は、環境省が実施する「令和6年度地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」に採択されました。

- 事業内容
2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、中堅・中小企業の脱炭素経営に向けた地域ぐるみでの取組を支援する体制を構築するもの
- 共同申請者
長野地域脱炭素実現推進協議会事務局[※]（株式会社守谷商会、東京海上日動火災保険株式会社、株式会社TOSYS、ライフライン長野株式会社、有限責任事業組合ソーシャルデザインセンター、ホクト株式会社）、長野商工会議所
[※]「長野地域脱炭素実現推進協議会」：NAGANO スマートコミッション令和5年度実証プロジェクトに基づき、CO2排出量見える化と脱炭素推進に取り組み市内企業で構成された団体
- その他
環境省 HP 参加団体決定について
(https://www.env.go.jp/press/press_03174.html)

環境部環境保全温暖化対策課 (課長) 小田切 伸夫 (担当) 松林 佑樹

TEL : 026-224-7532 FAX : 026-224-5108 E-mail : kankyo@city.nagano.lg.jp

FEEL NAGANO. BE NATURAL
この地で、わたしらしく生きる。長野市

環境省 Ministry of the Environment

本文へ > English キーワード検索 🔍 検索 ヘルプ

ホーム 環境省について 政策 法令 報道・広報 白書・統計 申請・手続き

報道発表資料

ホーム > 報道・広報 > 報道発表一覧 > 地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業参加団体決定について

この記事を印刷

2024年07月01日 地球環境

地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業参加団体決定について

▶ To English

環境省は、地域ぐるみの中堅・中小企業に対する脱炭素経営支援体制構築を目的とした支援事業として、令和6年度「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」への参加団体を決定しました。

目次

- 1 環境省 「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」
- 2 **プロジェクトとして実現したいこと**
- 3 「採用」に特化したプログラムを策定した理由
- 4 本プログラムにご参加頂くメリット
- 5 採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップの内容



本プロジェクトにて実現したいこと

**長野市の地域の価値向上
&
長野市の企業の価値向上**

長野地域脱炭素実現推進協議会が目指すもの

プロジェクトが目指すもの Goals of the project

地域脱炭素推進による長野市の価値向上 & 企業の価値向上



令和5年度実証プログラム

CO₂排出量の実態把握

- ✓ CO₂排出量可視化クラウドサービス提供による
CO₂排出量可視化 / Scope 1・Scope 2対象 (最大50社)
- ✓ 脱炭素経営に関するセミナー開催・普及啓発・情報提供
- ✓ 長野市地域由来の「地中熱」「地下水熱」利用可能性のご紹介



令和6年度以降の展開イメージ

CO₂排出量削減目標設定 具体的削減へのフェイズ移行

- ✓ Scope 3 CO₂排出量実態把握へのチャレンジ検討
- ✓ 長野市地域由来の地下水熱・地中熱技術等による
CO₂排出量削減検討

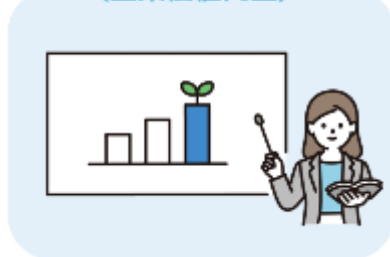


CO₂を排出しない 脱炭素・低炭素の ビジネスモデルへの転換

CO₂排出量可視化



企業価値向上



NAGANOスマートコミッション 令和5年度実証プロジェクト 「CO₂排出量見える化と脱炭素推進」

2023年8月
長野地域脱炭素実現協議会設立

目次

1

環境省 「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

2

長野地域脱炭素実現協議会がプロジェクトとして実現したいこと

3

「採用」に特化したプログラムを策定した理由

4

本プログラムにご参加頂くメリット

5

採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップの内容

なぜ、
「採用」に特化した
プログラムを創ったのか？

なぜ企業が脱炭素推進に取り組むのか - 企業価値を最大化する脱炭素経営 -

脱炭素経営推進は、全ての企業価値を最大化させることのできる可能性があります。

推進を進める上では、脱炭素（ゼロカーボン・カーボンニュートラル）を通じて、企業として「何を実現するのか」の目的が重要となります。

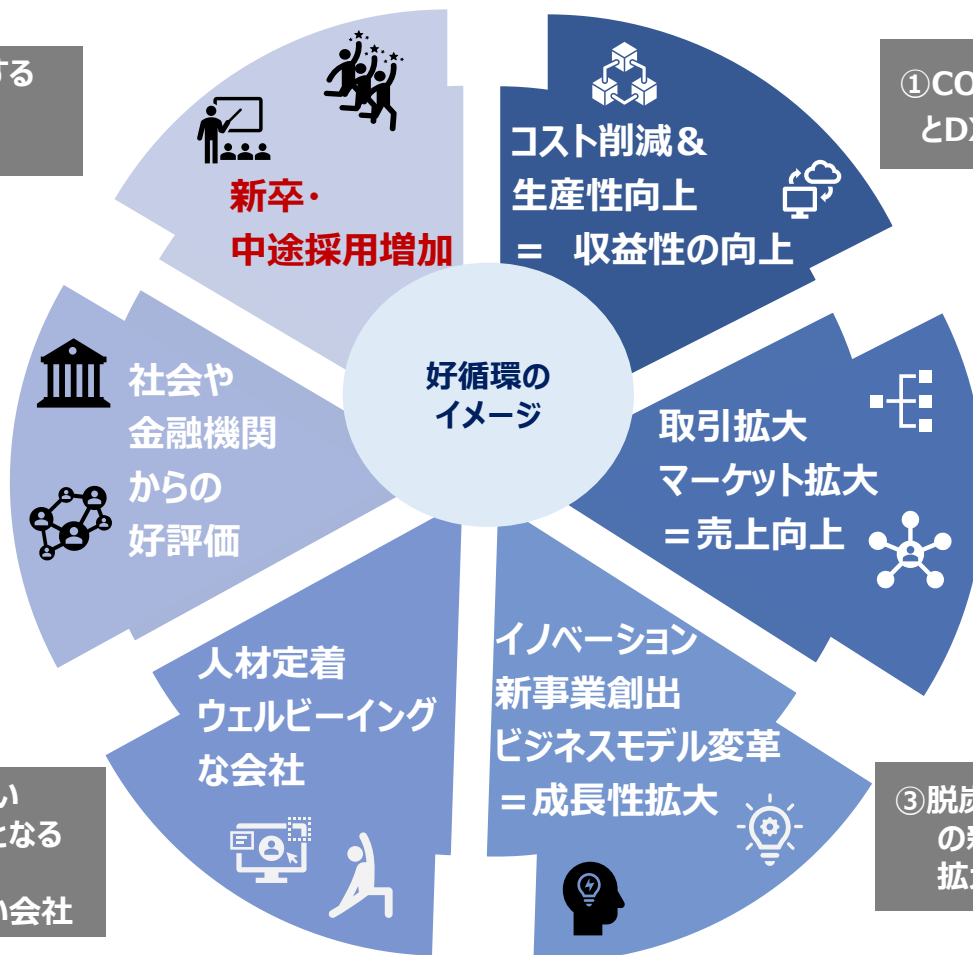
自社としてカーボンニュートラルを実現することは勿論、経営戦略としての脱炭素化が何をもたらすのかの社内共有も重要となります。

企業価値とは： 利益・売上・株価・収益性・生産性・成長性・財務基盤・人材定着・人材採用・
顧客満足度・ブランド価値・競争力・無形資産（独自能力）・人材育成力・組織一体感・従業員満足度 etc.

⑥ 成長性の拡大や社会課題解決に資する
事業や社員に優しい会社としての
新卒・中途採用増加

⑤ 地域や業界の社会課題貢献
・人や社会に優しい会社としての
認知度向上/
存在意義・ブランド価値向上

④ 生産性向上・DX推進による働きやすい
職場・代替性&リモートワークが可能となる
ことによる人材定着
/社員にやさしい会社/女性が働きやすい会社



① CO2排出量可視化によるエネルギーの効率化
とDX推進による省力・省人化（省エネ）

② CO2削減効果を自社の
独自能力としたサプライチェーン
の中での取引拡大

③ 脱炭素に貢献する 商品・製品・サービスの
新規事業創出による将来性・成長性の
拡大・期待

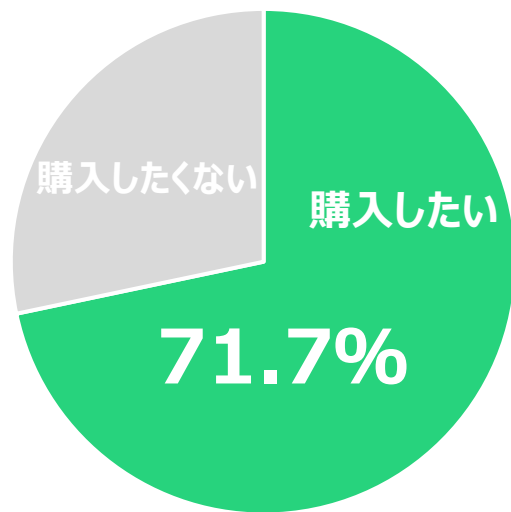
サステナブル（エシカル）ファッションの購買意欲・行動

2021年当時で、既にファッション業界では

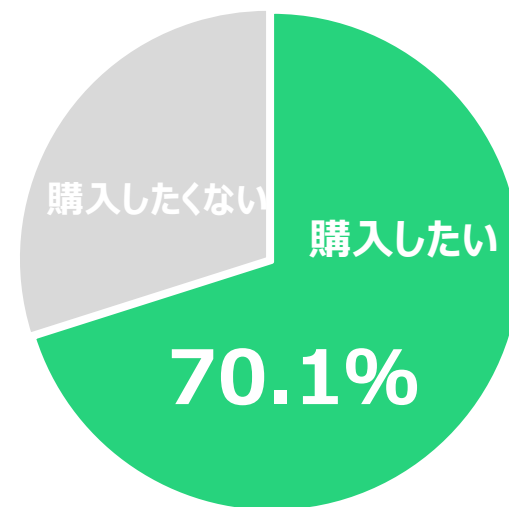
- ・「環境・社会問題に積極的に取り組むブランドを購入したい」
- ・「生産・製造過程で環境に与える影響を考えて購入したい」

という意向がともに**70%**を超える調査結果が出ていました。

環境・社会問題に積極的に
取り組むブランドを購入したい（意向）



生産・製造過程で環境に与える
影響を考えて購入したい（意向）



出典 ～博報堂「生活者のサステナブル購買行動調査2021」～

調査期間：2021年1月4日～7日調査対象：全国16歳～69歳の男女計4,125名

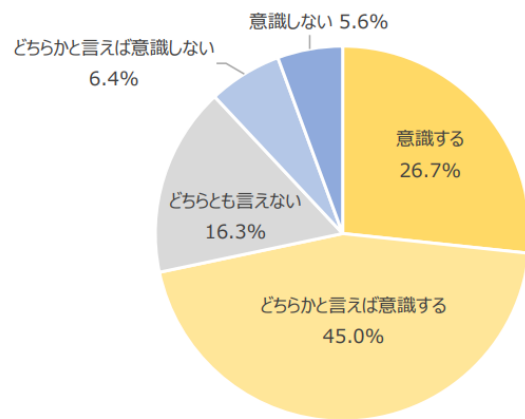
(就活生アンケート) 仕事選びにおける社会課題解決への貢献意識

「仕事選びで、社会課題の解決に貢献できるか意識する」と回答した学生が 7 割超。
「社会や他者の役に立つことが、やりがいにもつながると思う」の声 / 2025 年卒アンケート

出典： 株式会社学情2023 年 6 月 12 日発表「あさがくナビ」より抜粋

<https://service.gakujo.ne.jp/wp-content/uploads/2023/10/230612-navienq.pdf>

仕事選びにおいて、
社会課題の解決に貢献できるかを意識しますか？



仕事選びにおいて、社会課題の解決に貢献できるかを「意識する」と回答した学生が 26.7%に上りました。「どちらかと言えば意識する」45.0%を合わせると、7 割以上の学生が「仕事選びにおいて、社会課題の解決に貢献できるか」を意識していることが分かります。「仕事を通して社会に貢献したい」「社会に貢献していると、実感できる仕事をしたい」「社会や他者の役に立つことが、やりがいにもつながると思う」といった声が寄せられました。

- 調査概要・調査期間：2023 年 5 月 15 日～2023 年 5 月 30 日
- ・調査機関：株式会社学情
- ・調査対象：「あさがくナビ 2025（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・有効回答数：551 件
- ・調査方法：Web 上でのアンケート調査 ※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が 100.0%にならない場合があります。

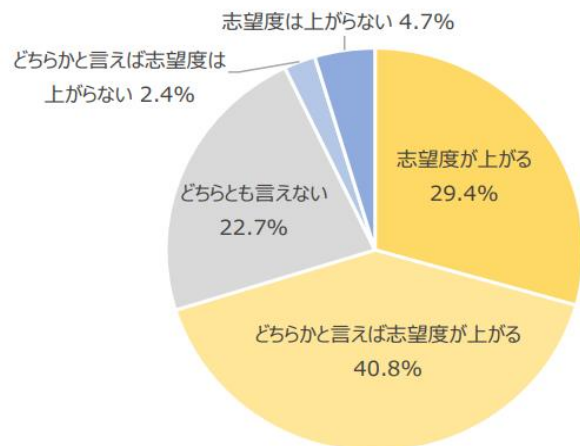
(就活生アンケート) 企業のSDGs取り組みと志望度の関係

「企業がSDGsに取り組んでいることを知ると、志望度が上がる」と回答した学生が7割を超える。「仕事を通して社会課題の解決に貢献したい」の声/2025年卒アンケート

出典：株式会社学情2023年6月8日発表「あさがナビ」より抜粋

<https://service.gakujo.ne.jp/wp-content/uploads/2023/10/230608-navienq.pdf>

就職活動において、企業がSDGsに取り組んでいることを知ると志望度が上がりますか？



就職活動において、企業がSDGsに取り組んでいることを知ると「志望度が上がる」と回答した学生が29.4%に上りました。

「どちらかと言えば志望度が上がる」と回答した学生40.8%を合わせると、7割超の学生が「企業がSDGsに取り組んでいることを知ると、志望度が上がる」としています。

「SDGsの達成に貢献する企業のほうが業績も伸ばしていると思う」「自社の利益だけでなく、社会に関心を持つ企業は好感が持てる」「SDGsの達成や、社会課題の解決に貢献しようとしている企業で働きたい」などの声が寄せられました。

■ 調査概要

- 調査期間：2023年5月15日～2023年5月30日
- 調査機関：株式会社学情
- 調査対象：「あさがナビ 2025（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- 有効回答数：551件
- 調査方法：Web上でのアンケート調査 ※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が100.0%にならない場合があります。

「事業活動」としての脱炭素化と
「経営戦略」としての脱炭素化

カーボンニュートラル・脱炭素実現がゴールではない

経営戦略の脱炭素化

事業活動の脱炭素化

イノベーション創出・ビジネスモデル変革
マーケット拡大が起こる領域

しなければならない領域

自社
ビジネス
への影
響



チャンス

- ✓ 新産業・イノベーション創出
- ✓ カーボンニュートラル
産業への参入
- ✓ 販路拡大

リスク

- ✓ 事業再構築
- ✓ 事業多角化

GHG
(CO₂)
排出量の
把握



Scope 1
Scope 2



Scope 3



出典：カーボンニュートラルと地域企業の対応 <事業環境の変化と取組の方向性> 令和5年12月 関東経済産業局 より 東京海上日動にて整理 ・「熱利用への一部転換」を追加
https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/ene_koho/ondanka/data/kantocn_guidance.pdf

目次

1 環境省 「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

2 長野地域脱炭素実現協議会がプロジェクトとして実現したいこと

3 「採用」に特化したプログラムを策定した理由

4 **本プログラムにご参加頂くメリット**

5 採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップの内容



本プログラムへ
ご参加いただくメリット



本プログラムにご参加頂くメリット

脱炭素経営推進により、採用活動に好影響が出ている企業が最近は増えてきております。本プログラムでは、人事採用責任者の方が脱炭素経営の重要性が理解できるとともに、実際に現在の学生の「教育」「価値観」にふれながら、実践的な人事採用戦略に役に立つプログラムにしております。

1

「採用活動」と
「脱炭素・GX推進」
が結びつきます



脱炭素・GX（グリーントランス
フォーメーション）推進が
なぜ「採用活動」に好影響を与える
のかを知ることができます。

2

現在の学生の
「教育」「価値観」に
ふれることができます



現代の学生が考える
「良い企業」「良い地域」
「社会課題解決」「地域貢献」
を知ることができます。

3

「人事採用戦略」としての
脱炭素経営推進が自社の
ブランド価値向上に繋がります



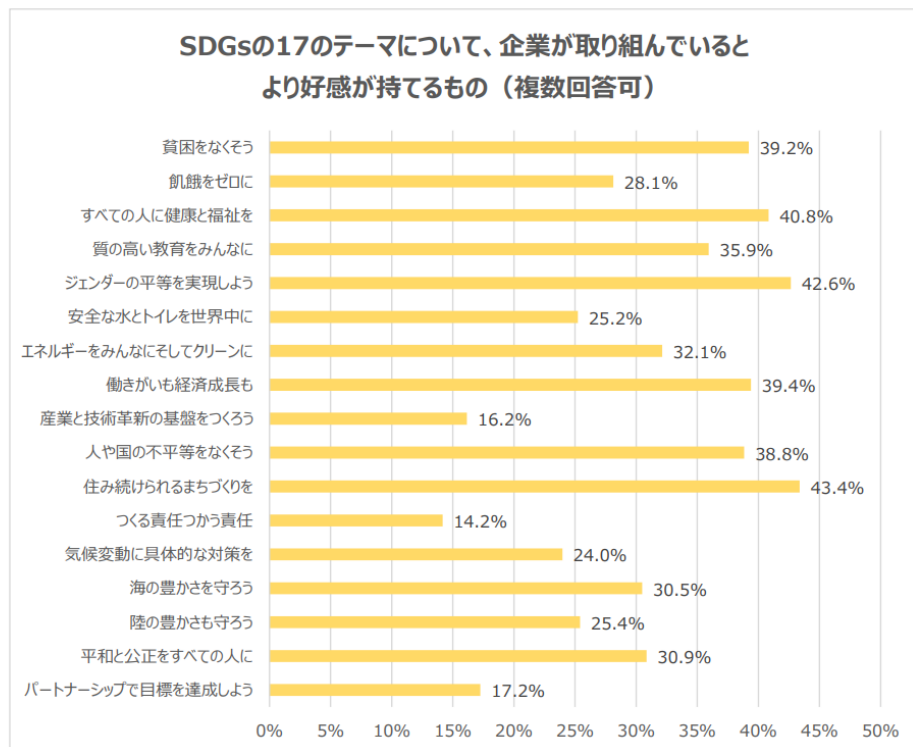
人事採用部門の方々が
脱炭素経営の重要性を
理解することで具体的な
「企業価値向上」に繋がります。

(就活生アンケート) SDGsで企業が取り組んでいるとより好感がもてるテーマ

脱炭素推進によって解決できることは、「気候変動リスク」“だけではありません。
就活生の好感度が高いSDGsの「住み続けられる街づくりを」「エネルギーをみんなにクリーンに」
「働きがいも経済成長も」「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉を」の解決にも繋がります。

出典：株式会社学情2023年6月9日発表「あさがくナビ」より抜粋

<https://service.gakujo.ne.jp/wp-content/uploads/2023/10/230609-navienq.pdf>



SDGsの17のテーマで、企業が取り組んでいると好感が持てるものは、「住み続けられるまちづくりを」が**43.4%で最多**。

次いで、「ジェンダーの平等を実現しよう」42.6%、「すべての人に健康と福祉を」40.8%が続きました。「住む場所や健康が全ての基礎になると思う」「環境問題や食糧問題など、全ての問題が住む場所や健康に関する課題につながっていると思う」「ジェンダーの平等は、日本がより注力して取り組むべき課題だと感じている」などの声が寄せられました

■ 調査概要

- ・調査期間：2023年5月15日～2023年5月30日
- ・調査機関：株式会社学情
- ・調査対象：「あさがくナビ 2025（ダイレクトリクルーティングサイト会員数 No.1）」へのサイト来訪者
- ・有効回答数：551件
- ・調査方法：Web上でのアンケート調査 ※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が100.0%にならない場合があります。

目次

1

環境省 「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

2

長野地域脱炭素実現協議会がプロジェクトとして実現したいこと

3

「採用」に特化したプログラムを策定した理由

4

本プログラムにご参加頂くメリット

5

採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップの内容

経営戦略としての「脱炭素推進」が
採用に好影響をもたらす
企業価値向上セミナー・ワークショップ

経営戦略としての「脱炭素推進」が

採用に好影響をもたらす企業価値向上セミナー・ワークショップ

Day1

カーボンニュートラルの基本を
学ぶ



- ✓ 脱炭素経営の重要性
カーボンニュートラルレッスン
- ✓ 脱炭素経営推進による
採用好事例企業紹介
- ✓ 自社に脱炭素貢献の
ソリューションがなくとも
脱炭素貢献が可能な
サーキュラーエコノミー

Day2

学生の「教育」「価値観」を
知る



- ✓ 現代の学生が考える
「良い企業」「良い地域」
- ✓ 「学生」から学ぶ
ゼロカーボン・地域貢献
- ✓ 「先生」から学ぶ
ゼロカーボン・地域貢献

Day3

自社の強みを採用活動に
繋げる



- ✓ 学生と共に考える
「魅力的な企業」の
発信方法
- ✓ 学生とともに考える
「新規事業の可能性」
- ✓ 脱炭素経営をベースとした
採用活動・採用計画への
ビルトイン



採用活動に好影響を
もたらすために
「3回」のセミナー・
ワークショップにて
実践的
脱炭素経営採用を
お伝え致します。
長野市内の企業の
採用の「悩み」を
ベースとした“独自の
セミナー・ワーク
ショップ”となっている
ため、内容が一部
変更になる可能性も
ありますことご了承
下さい。

日時

10月16日(水)
14:00~16:30

11月8日(金)
14:00~16:30

12月11日(水)
14:00~16:30

日時

長野市芸術館アクトスペース

ご参加頂く方は、人事採用部門の方でなくとも可能です。

人事採用責任者向けとなっておりますが、
人事採用部門の方でなくとも、経営者の方・その他部門の方々などの
ご参加も可能です。現時点では一社からの人数制限を設けておりません。

ご参加企業の対象

長野地域脱炭素実現推進協議会会員となります。
ご参加には、協議会への入会が必須となります。

お問い合わせ先

入会の申込み及び事業への応募は、長野地域脱炭素実現推進協議会事務局まで
お願いいたします。

長野地域脱炭素実現推進協議会事務局（宮下・中村）
電話番号:026-480-0068 E-mail:n.board@moriya-s.co.jp